

住みたいまち・魅力のあるまちに向けた提言書

～住民みんなが楽しく交流できるまち～



令和5年11月

万町まちづくり勉強会

目 次

はじめに	2
第1章 住みたいまち・魅力のあるまちに向けた取り組み	3
1.1 趣 旨	3
1.2 検討内容	3
1.3 具体的な取り組みメニュー案	3
第2章 サークル活動団体の設置	8
2.1 目 的	8
2.2 サークル活動報告会	8
2.3 サークル活動団体イメージ	8

平成4年にトリヴェール和泉が街びらきし、平成7年に和泉中央駅が開業して以来、万町では新しい住民がどんどんと増え、現在、世帯数約1000世帯以上となり、子供から高齢者まで多くの幅広い年齢層の方が暮らしています。今後も益々、住民が増えていくことが予想されます。

その一方、万町では、多くの子供がいるにもかかわらず、子供会はなく、また、毎年開催していた運動会もなくなり、住民同士の結びつきや地域の愛着が薄らいでいき、将来、子どもや孫の世代にこの町で安全・安心して楽しく暮らすことができるのかと心配になります。

このような状況の中で、今年度より新たなイベントとして万町フェスを開催し、住民同士の交流を図っておりますが、さらに様々な仕掛けが必要ではないかと考えています。

住民同士がもっと活発に交流ができ、安心して楽しく暮らせるよう、色んな取り組みや仕掛けなど、今からできることを少しでも進めていくことが必要ではないかと考えています。

このため、住みたい・魅力のある万町を考える「万町まちづくり勉強会」を設置して、この町にこんなものがあつたらいい、こんなことができればいい等々、自由に建設的・活発な意見交換を行ってきたところです。

本書は、万町まちづくり勉強会を3回開催し、住みたいまち・魅力のあるまち（住民みんなが楽しく交流できるまち）に向けた提言をまとめたものです。

今後、本書を参考にして、自分達が住む・暮らす町に少しでも関心をもってもらい、住民、町内会及び行政など関係者が連携・協力して、可能なことから一歩ずつでも取り組んでいただき、住民相互の交流促進を図るとともに、一人でも多くの住民が万町に住み続けたいと思う町になることを願っています。

令和5年11月25日

万町まちづくり勉強会

第1章 住みたいまち・魅力のあるまちに向けた取り組み

1.1 趣 旨

今後もずっと万町に住みつづけたい、魅力のあるまちに向けて取り組んでいきたいと考えており、主に住民相互が交流できる取り組むメニュー案を整理する。

より安全・安心で魅力のあるまちにしていくために、町内会だけでなく、住民皆が自分事として考え、少しずつでもできることから取り組んでいくことが大事と考えている。

取り組みにあたり、安全・安心なまちづくりが第一と考えており、「あいさつ」は、隣近所の方の顔が分かり、防犯対策や災害時の共助にもつながり、「掃除（きれいなまち）」は、治安対策やゴミつまりによる浸水被害を減らすことにもなる。住民誰もができる「あいさつ」と「掃除（きれいなまち）」から進めて、色んな取組みに発展させていき、住みたいまち・魅力のあるまちづくりを目指す。

1.2 検討内容

住みたいまち・魅力のあるまちに向けた取り組み案の検討にあたり、取組み主体を以下の3パターンに分けて、各々の取組みメニュー案を抽出・整理する。

- i) 主に住民が主体となり取組み、町内会は助成等の協力を行うもの。
- ii) 主に町内会が主体となり取組み、住民が協力を行うもの。また、行政に対して助言や補助などの協力を要望するもの。
- iii) 主に行政と町内会が主体となり取り組むもの。

また、メニュー案抽出にあたり、「防災・防犯」「イベント」「住民交流」「景観・おしゃれ」「情報発信」「子育て応援」「デジタル化」「新たな公共施設」のカテゴリーに分けて整理する。

なお、抽出したメニュー案は、まちづくり勉強会での意見であり、これ以外にも多くのメニュー案があると考えているので、ここに記載しているメニュー案に限定するものではない。

1.3 具体的な取組みメニュー案

1.3.1 主に住民が主体となり取組み、町内会は助成等の協力を行うもの。

(1) 防災・防犯

- ・犬を飼っている知らない方同士が顔を合わせて挨拶をする。目をかける。
- ・住民交流を図り町民同士が顔見知りになる。
- ・各家庭において防災タイムラインづくりを行う。災害時の対応を考えておく。

(2) イベント

- ・万町フェス等のイベントの企画
- ・ふれあい広場で綱引き大会（班対抗や子供だけの対抗など）を行う。
- ・万町児童公園（天受院）などで市（いち）・マルシェを定期的を開催。
- ・万町児童公園（天受院）の桜の下で桜カフェを実施。
- ・ハロウィン開催（子供が仮装してお菓子をもらいに回る）による住民交流促進。
- ・万町児童公園（天受院）で紙芝居やフラフープなどの昭和時代の遊びを行い、子供

たちが楽しく過ごせる日をつくる。

- 花火大会を開催。
- 万町とその周辺企業との協働による催しを開催。
- 槇尾川で水遊びなどを行う。

(3) 住民交流

- サークル活動を行うグループをつくり、町民会館などで活動。
- 町民会館で全会員参加イベント（オセロ大会、囲碁将棋大会、カルタ大会、クリスマス会、餅つき大会など）を開催。
- 町民会館を活用して子供から高齢者まで町民同士の交流の場づくり（住民がもっている本などを持ち寄って交流を図る）
- 小さい子供の親子教室開催。
- 料理教室開催。
- 空き家の活用。
- 喫茶マーノなどのカフェや飲食店との連携。

(4) 景観・おしゃれ

- 各々の家がアート、DIY、ガーデニングなどにより、おしゃれにする。
- まちにアートを展示。
- 町家カフェを設置。
- 人気のカフェや雑貨屋があるまち。

(5) 情報発信

- 万町児童公園（天受院）は、他町からも多数の子供たちが遊びに来る場所。その場所を活用して、子供主体で児童公園の名称を考えるワークショップを開催。
（普段、子供たちは「マンデラ」と呼んでいる）
- 町内にある施設や歴史・文化などを記載した、まちあるきマップや広報誌を作成。
- フラワーロードを設ける。
- ホタルを守る会（ホタルを増やす、ホタル観賞）

(6) 子育て応援

- 子ども食堂の設置・運営

(7) デジタル化

- スマホ教室

1.3.2 主に町内会が主体となり取組み、住民が協力を行うもの。また、行政に対して助言や補助などの協力を要望するもの。

(1) 防災・防犯

- ふれあい広場に災害用炊き出し設備（かまどベンチ）設置

- ・万町防災案内 PR
- ・災害時の物資確保に向け近隣企業と協定締結
- ・住民による避難訓練の実施

(2) イベント

- ・子供によるグラウンドゴルフ大会を実施。
- ・万町フェスの開催（R5年度より開催）

【R5. 10. 1 万町フェス開催状況】



ハンドメイドマルシェ



JAZZ STREET

(3) 新たな公共施設

- ・ふれあい広場にもう少し緑を増やす。広場周囲に植樹を行う。
- ・ふれあい広場を芝生広場にする。
- ・BBQができる場所・施設を整備
- ・町民会館前の法面にツバキやアジサイなどの花を植える。
- ・ドッグランの整備

(4) 住民交流

- ・町民会館利用料を下げ住民が利用しやすいようにする。
- ・古い工場を活用してイベント・住民交流ができる場所（レンタルハウス）にする。堺のスピニング・ミル（紡績工場跡地のレトロなビルを活用して、フリーマーケットやコンサートなど住民交流、情報発信の場）のようなものをつくる。

【空き家利活用の事例】



(5) 景観・おしゃれ

- ・ニュージーランドのクライストチャーチ（緑豊かな庭園が多く点在することから「ガーデンシティ」とも呼ばれる）や恵庭市（ガーデンシティ）などのようなまちづくり
- ・緑や花が多いまち、きれいなまちづくり（道路や川の法面に花を植栽など）。
- ・まちの掃除や不要な貼り紙の撤去などを実施。
- ・お盆などに行灯を設置（住民による行灯づくりを実施）

【町民会館前ガーデン イメージ】



【お盆の行灯イメージ】



(6) 情報発信

- ・町内の道路に愛称（〇〇通りなど）をつける。
- ・万町のロゴを作成。ロゴは町内会ホームページ等により一般募集を実施。
- ・AED 設置マップづくり
- ・万町町内会のホームページ作成

(7) 子育て応援、その他

- ・子ども食堂を設置
- ・町民会館を託児所として活用
- ・出産（誕生）祝いの拡充（市の助成を要望）
- ・单身・高齢者の方への見守り訪問の実施

(8) デジタル化

- ・町内会のデジタル化（迅速な情報発信、町内会業務の効率化など）
- ・万町町内会のホームページ作成

1.3.3 主に行政と町内会が主体となり取り組むもの。

(1) 防災・防犯

- ・町内会防災タイムライン（いつ、誰が、何をする）やマイタイムラインづくり
- ・防犯カメラや防犯灯の増設、落書き防止対策の実施（きれいなまちづくり）

(2) 新たな公共施設

- ・安全な道路や歩道設置

- 市の都市計画緑地公園を子供から高齢者まで楽しめる公園に整備（下図参照）
（アウトドア、イベント広場、スケートボード、グラウンドゴルフなど）
- 榎尾川の川岸に遊び場を整備
- ふれあい広場横の今池に噴水設備を設置し、ふれあい広場を憩いの場にする。

(3) 景観・おしゃれ

- 市民会館前の法面を植栽（ツバキやアジサイなど）
- 道路や榎尾川の法面に花を植栽
- 石畳の整備

(4) 子育て応援

- エンゼルハウス（簡易保育園）設置

公園イメージ

出典:Googleマップ



2.1 目的

サークル活動団体を設置することにより、町民誰もが自由に企画・運営、好きなサークル活動を通じて、住民相互の交流促進、健康・福祉の増進、並びに町の魅力向上・活性化が図られ、より住みたい魅力のあるまちになることを目指す。

なお、万町町内会では、町民（サークル活動仲間）による「万町町内会サークル活動団体登録要領」策定に向けて検討を進めている。

2.2 サークル活動報告会

各サークル活動団体は、各サークル活動の状況や今後の計画などについて情報共有を図るため、サークル活動報告会を開催する。

また、当該報告会の内容については、町内会にも共有を図り、必要に応じて町内会と連携・協力を行う。

2.3 サークル活動団体イメージ

サークル活動団体のイメージとしては、以下のようなものが考えられる。

① 個別サークル

囲碁、将棋、オセロ、カルタ、茶道、華道、書道、絵画、井戸端会議、料理、ダンス、カラオケ、卓球、サッカー、フットサル、ラグビー、ウォーキング、槇尾川活動など

② まちデザイン企画サークル

ガーデンシティ、フラワーロード、芝生広場、空き家（工場）活用などの企画・検討

③ イベント企画サークル

万町フェス、マルシェ、カフェ、フリーマーケット、ハロウィン祭り、クリスマス会などの企画・検討

④ 情報発信サークル

ホームページ作成、広報誌作成、まちづくりマップ作成など

万町まちづくり勉強会

1 勉強会メンバー

10名（住民及び町内会役員）

2 勉強会

第1回勉強会 令和5年5月27日

第2回勉強会 令和5年8月26日

第3回勉強会 令和5年11月25日